

■季節にあった生活をする

最近暖かくなっていると感じませんか。地球温暖化は確実に進んでいます。

まもなく夏。暑い夏は、温暖化だけでなく都市化によるヒートアイランド現象(注)の影響も大きいのですが、冷房なしの生活は考えられないと思う方もいるでしょう。

私たちはともすれば、冷暖房に頼りがちな生活を送っています。かつての日本では、夏は家の中の風の通りをよくする、見た目の涼しさを工夫するなどにより生活の中にしのごやすさを創り出していました。今はエアコンのスイッチひとつで涼しくなります。このことが、二酸化炭素の排出を増やし温暖化に拍車をかけ、ヒートアイランド現象に拍車をかけることとなります。

今、事業者だけでなく、消費者である私たちにも、温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量を減らす努力が求められています。私たちのできることの1つは、省資源、省エネルギーのライフスタイルを実践することです。

できるかぎり、先人の知恵を生活の中に取り入れましょう。見た目の涼しさ演出は思わぬ効果を生みます。冷房を使う時の温度設定のお勧めは28℃です。冷えすぎた部屋にいることは、環境への負荷を増やすだけでなく、体にもよくないし電気代もかさみます。

また、できるだけ旬で、地場の野菜や果物を食べることも省エネ生活なのです。ハウス栽培の野菜を育てる場合、露地野菜と比べて4倍のエネルギーが必要となります。遠くで栽培されると輸送のためのエネルギー消費も必要です。旬の食材を味わって食べるだけで、省エネにつながります。

まだまだ、グリーンコンシューマーとしてのアイデアを実践している方がいるでしょう。あなたの実践例をお寄せください。季節にあった生活を実践することは、グリーンコンシューマーとして大切なことなのです。

(注) 都市部にできる局地的な高温域のことです。郊外に比べ、都心部は気温が高く等温線が島のような形になることからこのような名称がつけました。